

# 蜆塚遺跡通信

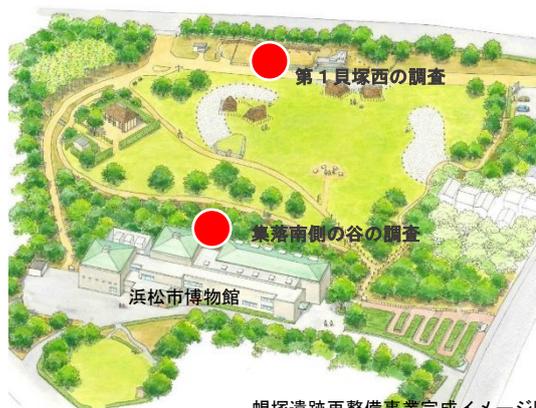
No. 2

浜松市文化財課・浜松市博物館

2026年1月22日

## 9次発掘調査を実施しました

2025年9月2日～17日にかけて蜆塚遺跡9次発掘調査を実施しました。9次調査では、ベテランの発掘調査作業員に加え、浜松市出身者を中心に考古学を専攻している全国各地の大学生や大学院生計8人が、浜松を代表する遺跡である蜆塚遺跡の調査に参加しました。



蜆塚遺跡再整備事業完成イメージ図  
発掘調査を行った場所

## 第1貝塚の西の端が明らかに！

蜆塚遺跡9次調査では、貝層保存施設の西側を部分的に発掘調査しました。9次調査により、第1貝塚の西の端の位置を明らかにすることができました。



第1貝塚は、範囲は東西に約40mと想定できます。



第1貝塚の西端確認のため、土の色・固さなどの土質の変化や出土品に最新の注意を払いつつ、手作業で掘り進めました。

## 集落南側の谷について調査しました！

発掘調査で深く掘った谷底付近からは、数多くの縄文土器のかけらが固く締まった土の中から見つかりました。かつて人が頻繁に谷地を通ったことで踏み固まった可能性があることから、縄文時代の人々が度々谷地を訪れていたことが想像できます。また、深く掘った部分からは水が湧き出ており、水が集まりやすい地形であることが分かりました。

今回の調査によって、集落の南側にある谷川を、縄文時代の人々が利用していた可能性がさらに高まりました。



発掘調査の様子

## 9次調査では縄文土器などが多数出土しました！

第1貝塚と集落南側の谷の2つの調査区から縄文時代後期（約3000～4000年前）を中心とした時期の縄文土器のかけらや石器、貝殻、獣骨片などが出土しました。2026年1月22日から3月末まで発掘調査で出土した遺物の一部を浜松市博物館で展示しています。



第1貝塚から出土した  
土器・石器・貝類・獣骨片



集落南側の谷から出土した土器のかけら

問合せ 発掘調査について

浜松市文化財課 電話 053-457-2466（平日のみ）

蜷塚遺跡について

浜松市博物館

電話 053-456-2208（月曜日休館）

メール [bunkazai@city.hamamatsu.shizuoka.jp](mailto:bunkazai@city.hamamatsu.shizuoka.jp)

メール [hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp](mailto:hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp)